

「CHOLELITHIASIS Causes and Treatment」

九州大学名誉教授・外科学第1 中山 文夫 著

筑波大学名誉教授

大 菅 俊 明

本書は現代の胆石学の最高峰である。手にしたとき、ついに上梓されたかと心中、快哉を叫んだ。この道一筋に歩まれた中山文夫名誉教授の30年以上に及ぶライフワークの待望の集大成である。本書には胆石症の様々なトピックスが自前の成績をもとに、詳しく解説されている。そして研究者のニーズに応え、臨床家の治療計画を助けることが意図されているが、見事なまでにその目的は達成されている。一語一語、読み進みながらその内容の深さに圧倒された。この分野では、わが国から初めて世界に向けて発信される記念碑的大作である。単独の著者によってこのような膨大な領域をまとめられた類書を知らない。快挙である。

胆石保有者は全世界で膨大な数にのぼり、加齢とともに頻度が増すので、その対策は高齢社会において重要な意義を持つ。胆石症はエジプトのミイラ以来の人類のありふれた病気だったので関心は高く、その研究は消化器病学の桎梏の1つであった。明治以来、九州大学第1外科教室はわが国の胆石研究の指導的役割を果たしてきた輝かしい伝統を持っている。著者の中山文夫名誉教授は三宅速教授、その令息の三宅博教授の後を継がれて16年間、教室を主宰された。学問的伝統を背負い、外科医として、更にまた薬学科において化学者としての素養を加えたのち、米国のJohnston教授のもとに学んだ著者は、1957年、既に胆汁酸とレシチンによる非手術的胆石溶解の試みを発表されている。このことはRainsの胆石の著書にも先駆的業績として紹介されたが、その後も国際的研究者として華々しい活躍をされ、多数の論文を世に問われた。

本書はその長い研究成果の精髓である。

第1～3章には胆石の分析法、世界における疫学が詳細に述べられ、その進歩と変遷がよくわかる。また1世紀以上にわたる論争の続く分類について教室の伝統のうえに築かれた分類を主張されている。なにしろ欧米の教科書ですら、ビリルビンカルシウム石と黒色石を混同していることでもわかるように、近年まで胆石学は欧米中心であった。アジアの胆石にたいする欧米の認識が著者をはじめとする先人の発表によって改まってきたのは最近のことである。

第4章の成因論は圧巻である。胆汁分析の化学的方法是著者自身の生化学的素養と実践に裏打ちされたものであり、後進にこのうえない手引きとなる。そして胆汁の生理学から、胆石の生成については、歴史的な文献から最新の論文までが、よく整理され、現在どこまでが明らかになり、どこが問題点として残されているかが一望できる。世界中の古今の研究者の歩みがよくわかり、まさに壮観である。それにしても感嘆するのは、これらの膨大な文献がすべて丹念に読みこなされたうえで引用されており、単なる羅列でなく、著者の自前の成績とともに、一貫した洞察のもとにストーリーとしてわかりやすく整理されていることである。半生をかけた執念と膨大なエネルギーを感じる。これだけ精緻に組み上げられた記述を私は知らない。

第5章には、長年にわたる外科医としての経験のもとに、胆石の診断法と治療法の最先端が要領よくまとめられている。最近の進歩は日常の臨床に混乱をもたらすほどであるが、各方法についてその適応、成

績、得失を、あくまで科学的に検証しながら記述されている。治療計画を策定するための理論的根拠を示すもので、診療の良い指針となる。

国際的にみても特筆に値するのは、第6章の肝内結石症である。アジアに多いこの病気は難病であり、その研究はアジアの学者の義務とも言える。厚生省特定疾患の研究班長としての実績も整理されて記載されており、ここに示された貴重な成績はわが国の大きな貢献と言えよう。

およそ論文であれ、著書であれ、その引用文献をみれば著者の見識がわかるというものである。本書の巻末に収録された文献は1,530篇、近代の重要な文献はほとんど収められている。しかも単なるコレクションでなく、これらが1つ1つ丹念に読み込まれたうえで、本文において精緻な織物のように編み上げられているのが凄い。研究を進めるうえで、座右必携。誠に便利、重宝である。

一語一語吟味された名文で綴られ、簡潔にして的確な表現は小気味良い。織り込まれた歴史的なエピソードも楽しい。本書が国際的な高い評価を受け、永く残る名著であることは疑いない。国際貢献が問われる今日、わが国からこのような著作が生まれたことを心から喜ぶものである。この分野に関心のある臨床家、研究者にぜひ手にして頂きたい。ライフワークにかけた著者の一途な生き方と情熱に心を打たれるに違いない。

● B5 頁312 図23 写真14
カラー写真8 表18 1996
定価(本体14,000円+税) 円400

医学書院 刊(☎ 03-3817-5657)